

事業概要	介護事業(通所・訪問看護・訪問介護・居宅介護支援・高齢者グループホーム・福祉用具・サービス付き高齢者向け住宅運営)、保育事業(認可保育所・小規模保育所・企業内保育園運営)、障がい事業(総合支援・障がい者グループホーム)等
部署	施設管理本部 施設管理課
所在地	〒140-0013 東京都品川区南大井6-20-14
連絡先	(電話番号)080-5985-1396 (E-mail)sm019745@kentak.co.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>介護、看護、保育、障がい等の福祉事業を行なう弊社にとって、福祉全般の概念として目指している「地域包括ケアシステム」や「地域共生社会の実現」に向けた地域での取り組みの促進は、福祉事業者として使命と考えております。環境省ローカルSDGs・「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし」として、当社内での取り組みだけではなく、地域や世の中全体での運動として、17の各GOALSに向けた当社の取組事例を、先ずはご利用頂いているお客様やお子さま、ご家族様や保護者様、並びに各行政・自治体様や地域の方々へ発信することで、「インセンティブや効果的な情報発信(気づき、ナッジ)を通じた行動変容の後押し」となる地域全体の取り組みとして共有し、促進を図って参りたいと考えております。</p> <p>一事業所や一企業で行うことも、各家庭毎で行うことも、取り組みとしては非常に小さなことではありますが、取組事例を継続して発信することで、地域全体で少しずつでも共感し、おこなって頂くことで「3. すべての人に健康と福祉を」を始めとするSDGsの17GOALSに向けて大きな取り組みが図れていき、地域を包括した共生可能な社会が創り出されて行くものと思慮致しております。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

分野 脱炭素／健康・福祉／防災

2、福祉事業を行なう上で、特に当社の主力事業である通所介護や保育園などは、お客様や子ども達に事業所へお越し頂き、食事などのサービスのほか入浴等のサービスを提供致します。依って事業所内で行う脱炭素となる様々な取り組みに関しては、ご利用のお客様や子ども、ご家族様や保護者様、及び地域の他社事業所やケアマネ様など社内外へも活動事例を紹介・発信し、取組事例の共有や理解の深耕と共に、取組自体の促進を図っていくことが非常に重要となります。

6、健康や福祉に関し、(コロナ禍以前となりますが)当社事業所内だけでなく、地域の郵便局やショッピングモールなどで介護相談会や高齢者疑似体験教材を用いた介護体験イベントなどを実施しておりました。当社の理念であります『すべてのかたがたの「元気」を創造し、しあわせな社会を実現します』を基に、地域共生社会実現に向けた、開かれた福祉への取り組みとして、地域の方々に身近に感じ触れて頂くことで、福祉を広く知って頂くよう改めて努めて参ります。

7、災害時帰宅支援ステーション※として、今年度、新たに関西広域連合と14事業所の協定を締結させて頂き、3年前に九都県市と締結させて頂いた26事業所と合わせ、計40事業所の登録を致しました。コロナ禍により思うように地域との連携や共有が図れておりませんが、各事業所のエントランス扉の横には、災害時帰宅支援ステーションやAED設置等のステッカーを掲示しており、従来から行なっている避難訓練等に加え、より一層地域の方々や災害病院等との連携を図り、ローカルSDGsの実現に貢献出来得る、様々な活動や情報を発信・共有して参る予定としております。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

- GOALS: 4として小机園では、SDGsマークを見ながら5歳児を中心とした子ども達がお絵描きをおこなった。絵を書き終わったあとマークを胸の前に写真を撮り、アート作品の様に保護者の方々へ報告をおこなった。
- GOALS: 4・11として文京関口園では、図書館でシイタケから出汁が取れることを知り、園で育てたシイタケを使って出汁を作り飲み比べをした。この体験を『だし新聞』として保護者へ知らせ、同時に本を貸し出して頂いた図書館へお伝えしたところ「だし新聞」を館内に掲示頂いた。
- GOALS: 7として
 - ①従来使用していたインサートカップを止め、介護の必要な方が使いやすい形状に成型したマグカップを新たに製作し使用を開始したことにより年間約18tのカップ廃棄削減が可能となった。
 - ②プラスチック資源循環法の施行に伴い、対象事業用途ではないが、一環した取り組みとして通所介護事業所での使い捨て歯ブラシの使用を取り止め、お客様持参による運用にて廃棄物削減を図っている。
 - ③通所介護事業所での毎月の水道メーターの自主検針や循環濾過機の夜間停止、また保育園を含めた事業所での温水洗浄機能付き暖房便座の夜間停止などを行い、水道使用量や使用電気量の削減対策を実施している。



URL <https://www.care-partner.com/news/>

上記ソリューションを提供できる地域について

全国(当社事業所のある28都道府県)

自者の特徴

- GOALS:4・7・15として東戸塚第2園では、使用済の牛乳パックを細かくちぎり、水につけ置きし、ペットボトルに水と洗濯糊、ちぎった牛乳パックを入れ溶けるまで振り再生紙を作成。子ども達自ら再生紙にて勤労感謝の言葉や絵を描き、カードにして園児の保護者様へプレゼントした。
- GOALS:3・4・12として、山科センターのレクリエーション(身体機能の維持・向上や交流等を目的としたプログラム)で、各スタッフが作成した紙芝居形式の資料を使い、当社の取組事例と共にSDGsを分かりやすくお客様へ説明。会報誌に詳細を記し、ご家族様や地域のケアマネ様へご案内を行なった。



- GOALS:2・4・5として駒込園では、SDGsカードを作成し遊びながら子ども達に気づきと知る事から始める。子ども達はSDGs自体を知らないため苦労しながらも工夫を重ね、興味の持ちやすい所から取り掛かれるよう遊びに取り入れた。興味を持ったカードを保育士が子ども達に分かりやすく説明する。また保護者様へも写真で開示し家族の中でも会話にしよう。効果として、世界の中には食べるものにも困る子どもがいることを知り、給食を残さず食べようという意識を持ち始める子どもも現れてきている。



自者の特徴

- GOALS:7・15として、柏センターにてコンポストを実施し、センターで出る、食材切れ端や残飯を使って堆肥を育てている。お花や緑のカーテンを作るときの土作りに活躍します。大きなコンテナに古い土と堆肥を混ぜて置けば、ふかふかの土ができ、新たに野菜や花の栽培に使用しています。取り組んだ事例は、会報誌にてご家族や地域のケアマネ様の他、社内研修にて全国へ共有、案内をおこなった。



- GOALS:4・14として、にじかけ園では、幼児組の子ども達が魚の栄養について学んだ。人間の体のつくりや食べた物がどのように体を通して、うんちになるのか消化の話や、栄養がどのように体に吸収されるのかを理解する。魚の体の部位や、栄養について話を聞く。本物の魚(イワシ・イカ)を、さばいているところを見て、内臓のつくりなどを観察することで、人と同じく魚にも命があるのだと理解し、その命(栄養)を私たちはいただくことで丈夫な体が作られていることを知る。いつも美味しくいただけている事に感謝する。保護者様へも取り組み事例を報告にて共有した。



SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

お客様や子どもへのサービスの質を確保した上で、脱炭素となる更なる取り組みがなかなか見つからず、また事業所内での省エネ化に向けた取り組みを促進すべきだが、費用対効果等もあり現状に於いて進捗が難しい状況ではある。